

議をし結論を導いていただきました。

総務部理事

入札参加条件の設定や資格確認については、水道局で行い、内容は、建設工事等指名業者選定委員会で承認の上、事業管理者が決定している。

水道局長

内容としては、サイクルが1年間であり、1年間の業務で入札をし、経験を踏まえて効果を出してもらおうということから契約期間は5年に設定した。委託する事業については専任の資格のある技術者を配置することとしている。

教育次長

(2) 毎日の業務については、教育委員会と連絡を密にしている。業務終了後も、業務日誌による報告と、翌日の業務の確認を行っている。19年度については、仕様書をもとに見積り、適正な金額での契約を考えている。

市長

設置検討委員会で検討し、答申を受け、実施方針や基準を決めて実施していきたい。利用料については、市への届けが義務づけられており、不適切な利用料について変更を命ずることができる。幼稚園や保育園との均衡、こども園内の均衡を考慮し、適切な利用料となるよう、行政として指導していきたい。(その他の質問事項)
・企画商工行政の組織・機構改革における食育担当について

大村市立病院の再生への道はあるのか

山口議員

(1) 教育行政について
遠距離通学助成制度について平成19年度以降も、平成18年度と同様の補助基準を恒久的に継続していただけないものか、お尋ねします。

(2) 市立病院事業について

大村市立病院再生プラン2005が、今年1月に出されたものの、その後の状況変化、特に小児科医2名の引き揚げなどによる大きな変化を受けて、財政見通しが大幅に変更される事となった。再度提出された財政見



大村市立病院

通しでは、再生されるどころか破綻への道を突き進んでいるかの如く、不良債務が毎年度積み上がっていく内容となっています。この先、市立病院の再生への道は本当にあるのか、お尋ねします。

市長

(1) 基本的な考えとして、県内の全ての小・中学校生が国の基準で通学をしていることもあり、19年度から段階的に引き下げて、21年度には廃止をする方向で考えている。

病院事業管理者

(2) 大村市の背景人口を考えると、同じ地域に総合病院が2つある。また、長崎医療センターの新築により市立病院の手術数も患者数も減少している。長崎医療センターの影響であると考えている。医師の確保という問題もあり、管理者としては今の段階が患者数のピークであると判断をしている。経営の問題点については、もう少し早い時期に論議した方がよかったのではないかと率直に感じている。

市長

今後有識者からなる検討委員会を議会終了後に立ち上げ、十分意見を聴取しながら、3月議会までには、市立病院の形態についての方向づけをしたい。また、医師会等と相互に連携をはかり、大村市の医療を守るために、経営も最小限度やっ

けるように、十分意見交換をして、いい方向を目指していきたい。

都市計画道路の

“40年前頃指定)

早期解決を”

前川議員

(1) 都市整備行政について

大村公園の时期的有料駐車場化について、大村市都市公園条例の改正案が提出されたが、施行時期、管理組織、市民をはじめ関係機関への周知広報、又その貴重な財源の活用等についてはどこまで内部協議が進捗しているのか。

都市計画道路、竹松駅から富の原線の進捗状況について。この計画は40年前頃の計画決定であり、その線引予定地の地権者は長年迷惑を強いられておられることを考え、財政厳しい折ではあるが、行政の責任において基本計画、年次計画について市長はどう考えているのか。

(2) 農林行政について

寿古地区海岸の松喰い虫対策の進捗について

団塊世代の「人材育成農業塾」への本市の支援はどうか。

市長

(1) 有料化の実施時期については、桜、花菖蒲の開花時期